

第8次刈谷市総合計画(案)目標指標一覧

資料3

基本構想

| No | 市民満足度 | まちづくりの指標 | 単位 | 現状値 | 目標値 2042年 | 出典 | 説明・アンケート設問及び算出方法 |
|----|----------|----------------------|----|-----------------|--------------|--------|--|
| 1 | まちづくりの指標 | 住みやすさを実感している市民の割合 | % | 85.7 (2022年) | 90.0 | 市民意識調査 | 「総合的にみて、刈谷市は住みやすいところだと感じますか」の設問に対し、「たいへん住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した市民の割合 |
| 2 | | 住み続けたいと思っている市民の割合 | % | 88.1 (2022年) | 90.0 | 市民意識調査 | 「これからも刈谷市に住み続けたいと思いますか」の設問に対し、「いつまでも住み続けたい」または「当分住み続けたい」と回答した市民の割合 |
| 3 | | 市政に対して不満と感じていない市民の割合 | % | 90.3 (2022年) | 91.0 | 市民意識調査 | 「刈谷市の市政(まちづくり)について満足していますか」の設問に対し、「満足」、「やや満足」または「ふつう」と回答した市民の割合 |

基本計画(重点戦略)

| No | 重点戦略名 | 重要業績評価指標(KPI) | 単位 | 現状値 | 中間値 2027年 | 目標値 2032年 | 出典 | 説明・アンケート設問及び算出方法 |
|----|------------------|--|-----|----------------------|--------------|--------------|--|---|
| 1 | 1 若い世代や子育て世代への支援 | 合計特殊出生率 | | 1.47 (2020年) | 1.55 | 1.61 | 母の年齢5歳階級別の出生数データ(政府統計データ)、年齢5歳階級別の女性数データ(愛知県統計データ) | 女性が出産可能な年齢を15歳から49歳までと規定し、5歳ごとの出生率を算出する。それらを足し合わせることで、人口構成の偏りを排除し、一人の女性が一生に産む子供の数の平均を求める。 |
| 2 | | 子どもを生み育てやすいと思う市民の割合 | % | 86.3 (2022年) | 90.0 | 90.0 | 市民意識調査 | 「刈谷市は子どもを生み・育てやすいと思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 3 | | 保育園等の待機児童数 | 人 | 0 (2022年) | 0 | 0 | 厚生労働省実施の保育所等利用待機児童数調査 | 各年4月1日時点における待機児童の人数 |
| 4 | | 平日の家事、育児、介護に携わっている時間が「1時間以上」と回答する男性市民の割合 | % | 18.6 (2019年) | 22.4 | 24.8 | 男女共同参画に関する市民意識調査 | 「あなたが家事、育児、介護に携わる時間は、1日あたりどれくらいですか」の設問に対し、「～3時間未満」、「～5時間未満」または「5時間以上」と回答した市民の割合 |
| 5 | | 企業等のスポーツ選手を招いた取組を行っている小中学校及び特別支援学校の割合 | % | 18.1 (2021年) | 50.0 | 72.7 | 業務データ | 各年4月から翌年3月の間に刈谷キラキラ教室(参集型及び派遣型)等スポーツ選手が、小中学校及び特別支援学校の22校を対象に、体育指導、講演会等を実施している学校の割合 |
| 6 | 2 魅力ある働く場の創出 | 製造品出荷額等 | 百万円 | 1,584,996 (2020年) | 1,650,000 | 1,700,000 | 工業統計調査・経済構造実態調査・経済センサス-活動調査 | 国の統計調査(工業統計調査・経済構造実態調査・経済センサス-活動調査)において公表される刈谷市の製造品出荷額等(製造品出荷額に加工賃収入額及び修理収入額を加えたもの) |
| 7 | | 従業者数 | 人 | 49,764 (2020年) | 51,000 | 52,000 | 工業統計調査・経済構造実態調査・経済センサス-活動調査 | 国の統計調査(工業統計調査・経済構造実態調査・経済センサス-活動調査)において公表される刈谷市の従業者数 |
| 8 | | シルバー人材センター会員数 | 人 | 528 (2021年) | 558 | 590 | 業務データ | 年度末(翌年3月31日)時点の刈谷市シルバー人材センターの会員数 |
| 9 | 3 にぎわいの創出 | 刈谷駅周辺が活気や魅力があると思う市民の割合 | % | 66.3 (2022年) | 67.0 | 68.0 | 市民意識調査 | 「刈谷駅周辺は、活気や魅力があると思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 10 | | ホームタウンパートナーチームのホームゲームの試合数 | 回 | 60 (2021年) | 62 | 63 | 業務データ | 各年4月から翌年3月の間に刈谷市内で実施されたホームタウンパートナーチームのホームゲームの試合数 |
| 11 | | 郷土の歴史や文化に触れていると感じる市民の割合 | % | 16.4 (2022年) | 23.5 | 28.0 | 市民意識調査 | 「郷土の歴史や文化に触れていると感じると思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 12 | | 歴史に興味を持っている市民の割合 | % | 30.4 (2022年) | 35.0 | 40.0 | 市民意識調査 | 「刈谷の歴史に興味を持っていますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 13 | | 主要観光拠点の年間利用者数 | 千人 | 7,867 (2021年) | 11,687 | 12,271 | 業務データ | 各年4月から翌年3月の間における愛知県観光入込客統計の主要観光拠点の年間利用者数。(2021年における主要観光拠点は、刈谷ハイウェイオアシスをはじめ8施設、万燈祭をはじめ7イベントの計15拠点) |

| No | 重点戦略名 | 重要業績評価指標 (KPI) | 単位 | 現状値 | 中間値 2027年 | 目標値 2032年 | 出典 | 説明・アンケート設問及び算出方法 |
|----|---------------------|------------------------------------|----|------------------|--------------|--------------|------------------------------|--|
| 14 | 4 誰もが活躍できる 社会の形成 | 地域の支え合いにより高齢者や障害者が安心して暮らせると思う市民の割合 | % | 72.4 (2022年) | 76.8 | 81.1 | 市民意識調査 | 「刈谷市は地域の支えあいにより高齢者や障害者も安心して暮らせると思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 15 | | 日本人と外国人が地域で理解し合い暮らしていると思う市民の割合 | % | 61.7 (2022年) | 65.1 | 68.6 | 市民意識調査 | 「刈谷市に住む外国人と日本人は、異なる文化や習慣を互いに認め合いながら暮らしていると思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 16 | | 市民などの企画による講座の年間受講者数 | 人 | 64 (2021年) | 130 | 160 | 業務データ | 各年4月から翌年3月の間に開催された、市民が講師となって自らの知識・技能を伝える市民向け講座、市民講師企画講座の年間参加者数 |
| 17 | | 市民ボランティア活動センターマッチング数 | 件 | 80 (2021年) | 90 | 99 | 業務データ | 各年4月から翌年3月における市民ボランティア活動センターのマッチング件数 |
| 18 | 5 安全に暮らし続けられる環境の整備 | 災害に強いまちだと思える市民の割合 | % | 60.7 (2022年) | 64.0 | 68.0 | 市民意識調査 | 「刈谷市は災害に強いまちであると思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 19 | | 人口1,000人あたりの犯罪件数 | 件 | 4.3 (2021年) | 県平均以下 | 県平均以下 | 愛知県HP「あいちの人口」、愛知県警HP「犯罪統計月報」 | 12月31日時点までに市内で発生した刑法犯罪件数/翌年1月1日時点の人口×1,000 (愛知県平均の現状値(2021年)は5件) |
| 20 | | CO2排出量削減割合(2013年度比) | % | -10.5 (2021年) | -37.8 | -51.5 | 【刈谷市の環境】環境基本計画年次報告書 | 各年4月から翌年3月の間のCO2の削減割合(2013年度比) |
| 21 | | 身近な場所で花や木など緑を育てている市民の割合 | % | 62.4 (2022年) | 64.4 | 66.4 | 市民意識調査 | 「身近な場所で、花や木など緑を育てていますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 22 | | 公共交通が利用しやすいと感じる市民の割合 | % | 57.7 (2022年) | 60.0 | 62.0 | 市民意識調査 | 「刈谷市は鉄道やバスなどの公共交通が利用しやすいと思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |

基本計画(基本方針別計画)

| No | 基本方針別計画 | 目標指標 | 単位 | 現状値 | 目標値 2032年 | 出典 | 説明・アンケート設問及び算出方法 |
|----|-------------|--|----------------|--------------------|--------------|------------------|---|
| 1 | 1-1 市街地・住環境 | 快適で便利な住環境が整備されていると思う市民の割合 | % | 82.1 (2022年) | 84.2 | 市民意識調査 | 「刈谷市は快適で便利な住環境が整備されていると思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 2 | | 市街化区域のDID地区の人口密度 | 人/ha | 59.6 (2021年) | 59.9 | 国勢調査、愛知県都市計画基礎調査 | 市街化区域のDID地区の人口(人)/市街化区域のDID地区の面積(ha) (各年10月1日時点) |
| 3 | 1-2 道路・交通 | 日常(通勤・通学や買物など)の移動手段として、自転車や公共交通機関の利用を心がけている市民の割合 | % | 36.1 (2022年) | 50.0 | 市民意識調査 | 「日常(通勤・通学や買物など)の移動手段として、自転車や公共交通機関の利用を心がけていますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 4 | | 刈谷市の道路は車や自転車、徒歩などで移動しやすいと思う市民の割合 | % | 67.4 (2022年) | 70.1 | 市民意識調査 | 「刈谷市の道路は、車・自転車・徒歩などで移動しやすいと思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 5 | 1-3 公園緑地・緑化 | 公園・緑地が充実していると思う市民の割合 | % | 77.3 (2022年) | 82.5 | 市民意識調査 | 「刈谷市は公園・緑地が充実していると思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 6 | | 緑や自然を身近に感じることができると思う市民の割合 | % | 71.2 (2022年) | 78.4 | 市民意識調査 | 「刈谷市は緑や自然を身近に感じることができると思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 7 | 1-4 治水・水辺環境 | 総合治水対策量 | m ³ | 116,600 (2021年) | 310,000 | 業務データ | 翌年3月末時点における治水対策量(雨水貯留量等) |
| 8 | | 水辺の憩いの場整備箇所数 | 箇所 | 11 (2021年) | 13 | 業務データ | 水辺の憩いの場整備(河川・池沼)箇所数 |
| 9 | 1-5 上下水道 | 重要給水施設管路の耐震管率 | % | 62.9 (2021年) | 100.0 | 業務データ | 重要給水施設管路総延長に対する、重要給水施設管路のうち耐震化された管路延長 / 重要給水施設管路の耐震化率 = 重要給水施設管路のうち耐震管延長 / 重要給水施設管路総延長(翌年3月31日時点) |

| No | 基本方針別計画 | 目標指標 | 単位 | 現状値 | 目標値 2032年 | 出典 | 説明・アンケート設問及び算出方法 |
|----|----------------|--------------------------|----|-------------------|--------------|--|--|
| 10 | 1-5 上下水道 | 下水道接続率 | % | 91.9 (2021年) | 94.0 | 業務データ | 「供用開始区域内人口のうち、実際に下水道に接続して汚水を処理している人口の割合 下水道接続人口/供用開始区域内人口×100(%) (翌年3月31日時点) |
| 11 | 2-1 学校教育 | 学校が楽しいと思う児童生徒の割合 | % | 89.9 (2022年) | 90.5 | 市民意識調査 | 「学校は楽しいですか」の設問に対し、「とても楽しい」または「どちらかといえば楽しい」と回答した市民の割合 |
| 12 | | 将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合 | % | 68.6 (2022年) | 80.0 | 市民意識調査 | 「将来の夢や目標がありますか」の設問に対し、「ある」または「どちらかといえばある」と回答した市民の割合 |
| 13 | 2-2 生涯学習・青少年教育 | 生涯学習を行っている市民の割合 | % | 39.5 (2022年) | 50.0 | 市民意識調査 | 「生涯学習を行っていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合 |
| 14 | | 青少年が参加する体験・交流活動参加延べ人数 | 人 | 18,855 (2021年) | 26,000 | 各事業の参加状況統計 | 各年4月から翌年3月までの放課後子ども教室、キッズクラブ、中高生の居場所「なごみんはあと」、青年講座の延べ参加人数の合計実績値 |
| 15 | 2-3 スポーツ | 成人のスポーツ実施率(週1回以上) | % | 48.1 (2022年) | 75.0 | 市民意識調査 | 「週1回以上スポーツをしていますか。(例 ウォーキング、ジョギング、テニス、水泳、体操、徒歩や自転車での通勤・通学 など)」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 16 | | スポーツ施設の利用に満足している人の割合 | % | 34.3 (2022年) | 45.0 | 市民意識調査 | 「スポーツがしやすい施設・環境の整備」について、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合 |
| 17 | 2-4 歴史・文化・観光交流 | 日頃から文化や芸術に親しむ機会がある市民の割合 | % | 39.0 (2022年) | 51 | 市民意識調査 | 「日頃から文化や芸術に親しむ機会がありますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 18 | | 誇りや愛着を感じている市民の割合 | % | 64.0 (2022年) | 79.5 | 市民意識調査 | 「刈谷市に誇りや愛着を感じていますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 19 | | 刈谷の魅力が友人などに勧めたいと思う市民の割合 | % | 47.3 (2022年) | 60.0 | 市民意識調査 | 「刈谷の魅力が友人などに勧めたいと思いますか(例 遊ぶ場所がある、おいしいグルメがある、スポーツが盛んななど)」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 20 | 3-1 商工業 | 産業が活発であると思う市民の割合 | % | 94.0 (2022年) | 95.0 | 市民意識調査 | 「刈谷市は産業が活発だと思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 21 | | 主に市内の店舗で買物をしている市民の割合 | % | 82.3 (2022年) | 84.0 | 市民意識調査 | 「主に市内の店舗で買物をしていますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 22 | 3-2 農業 | 農用地の利用権設定面積 | ha | 631 (2022年) | 695 | 農地台帳(農地情報システムから出力) | 各年3月末時点において利用権が設定されている農地の面積 |
| 23 | | 地元の農産物を買うように心がけている市民の割合 | % | 53.8 (2022年) | 63.0 | 市民意識調査 | 「地元の農産物を買うように心がけていますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 24 | 3-3 環境 | CO2排出量削減割合(2013年度比) | % | -10.5 (2021年) | -51.5 | 【刈谷市の環境】環境基本計画年次報告書 | 各年4月から翌年3月の間のCO2の削減割合(2013年度比) |
| 25 | | 環境配慮行動に心がけている市民の割合 | % | 84.9 (2022年) | 86.5 | 市民意識調査 | 「環境配慮行動に心がけていますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 26 | 4-1 子育て支援 | 合計特殊出生率 | | 1.47 (2020年) | 1.61 | 母の年齢5歳階級別の出生数データ(政府統計データ)、年齢5歳階級別の女性数データ(愛知県統計データ) | 女性が出産可能な年齢を15歳から49歳までと規定し、5歳ごとの出生率を算出する。それらを足し合わせることで、人口構成の偏りを排除し、一人の女性が一生に産む子供の数の平均を求める。 |
| 27 | | 子どもを生み育てやすいと思う市民の割合 | % | 86.3 (2022年) | 90.0 | 市民意識調査 | 「刈谷市は子どもを生み育てやすいと思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 28 | 4-2 健康づくり | 日頃から健康づくりを実践していると思う市民の割合 | % | 68.3 (2022年) | 80.0 | 市民意識調査 | 「日頃から健康づくりを実践していますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |

| No | 基本方針別計画 | 目標指標 | 単位 | 現状値 | 目標値 2032年 | 出典 | 説明・アンケート設問及び算出方法 |
|----|-------------|--|----|-----------------|--------------|------------------------------------|---|
| 29 | 4-2 健康づくり | 安心して医療が受けられる環境が整っていると思う市民の割合 | % | 88.5 (2022年) | 90.5 | 市民意識調査 | 「刈谷市は安心して医療が受けられる環境が整っていると思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 30 | 4-3 地域福祉 | 地域の支え合いにより高齢者や障害者が安心して暮らせると思う市民の割合 | % | 72.4 (2022年) | 81.1 | 市民意識調査 | 「刈谷市は地域の支えあいにより高齢者や障害者も安心して暮らせると思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 31 | | 地域福祉に関するボランティア活動に参加している市民の割合 | % | 8.8 (2022年) | 15.0 | 市民意識調査 | 「現在、地域福祉に関するボランティア活動に参加していますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 32 | 4-4 高齢者福祉 | 要支援者が重度化しない率 | % | 66.2 (2021年) | 68.0 | 業務データ | 各年4月1日時点の要支援1・2の第1号被保険者個人について、1年後の介護度に変化がない(現状維持)または改善した者の割合 |
| 33 | | 生きがいがあると思う高齢者の割合 | % | 50.8 (2019年) | 54.0 | 高齢者等実態調査(一般高齢者) | 「生きがいはありますか」の設問に対し、「ある」と回答した高齢者の割合 |
| 34 | 4-5 障害児・者福祉 | 障害福祉サービスを利用して在宅で生活している障害のある人の割合 | % | 16.4 (2021年) | 24.5 | 業務データ | 各年4月1日時点において、身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の所持者のうち、障害福祉サービス(施設入所支援及び療養介護を除く。)又は障害児通所支援サービス利用している人の割合 |
| 35 | | ノーマライゼーションに心がけている市民の割合 | % | 82.8 (2022年) | 83.8 | 市民意識調査 | 「高齢者や障害者の方々などへの気配りなど福祉の心を持った行動に心がけていますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 36 | 4-6 防災 | 災害に強いまちだと思う市民の割合 | % | 60.7 (2022年) | 68.0 | 市民意識調査 | 「刈谷市は災害に強いまちであると思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 37 | | 災害の備えをしている市民の割合 | % | 62.6 (2022年) | 68.0 | 市民意識調査 | 「地震や台風などの災害に対する備えをしていますか」の設問に対し、「はい」と回答した市民の割合 |
| 38 | 4-7 生活安全 | 人口1,000人あたりの犯罪件数 | 件 | 4.3 (2021年) | 県平均 以下 | 愛知県HP「あいちの人口」、愛知県警HP「犯罪統計月報」 | 各年12月31日までに市内で発生した刑法犯罪件数/1月1日時点の人口×1,000 (愛知県平均の現状値(2021年)は5件) |
| 39 | | 人口1,000人あたりの人身事故件数 | 件 | 3.5 (2021年) | 県平均 以下 | 愛知県HP「あいちの人口」、愛知県警HP「愛知県の交通事故発生状況」 | 各年12月31日まで市内で発生した人身事故件数/1月1日時点の人口×1,000 (愛知県平均の現状値(2021年)は3.2件) |
| 40 | 4-8 共存・協働 | 職場や家庭、地域などで全ての人が性別にかかわらず活動ができていると思う市民の割合 | % | 69.6 (2022年) | 79.6 | 市民意識調査 | 「職場や家庭、地域などで全ての人が性別にかかわらず活動ができていますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |
| 41 | | 地域活動やボランティア活動が活発であると思う市民の割合 | % | 55.4 (2022年) | 61.0 | 市民意識調査 | 「刈谷市は地域活動やボランティア活動が活発であると思いますか」の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合 |